



# 大柳電気に中学生がやってきた

暑い夏から、実りの秋へ。

コスモスの花が風に揺れる9月。

私たちの会社に、中学生が3人やってきました。

職場見学。インターンシップです。今回はその特集号です。

9  
2022

有限会社大柳電気

宮城県登米市中田町上沼字大柳104番地

## ◇8月30日 午前



★電柱の仕事に就いて知ることができた。高所作業車に乗って何をやるのがわかった。

★工事をする時には、安全担当の方が安全かどうかを確認する。

★安全確認の仕方や様々な電柱があることがわかった。



### ◆午後 講義 「配電とは」

★配電のことをわかりやすく教えてもらいました。火力や原子力など様々な方法で電気をつくり、その電気を家庭に届けることが配電だとわかりました。

★配電とは、家庭に電気を届ける大切な仕事だとわかりました。また、電気には様々な課題もあることがわかりました。

★配電工事は、雨の日も雪の日も、30度をこえる炎天下でも、場合によっては夜だってやることがわかりました。

## ◇今日の感想



★最初は少し地味な仕事だと思いましたが、僕たちが快適に生活を送れるように、ライフラインのひとつである配電線の構築・保守を行っていて、見てみてとても「カッコいい」と思いました。

★5つの発電方法があっても、メリットやデメリットがあり、一つが使えなくなってもその他の発電で電気がつくられることがわかりました。また、変電所などそれぞれの役割があることもわかりました。

★今日は朝から緊張していました。それでも、やさしく電気のことを教えてくれたり、講義まで開いてもらいました。

## ◆8月31日 午前 現場見学



★津山町のもくもくランドに近くでは、電線を張るのにじゃまな木を切っていた。黄色のゴム手袋は、電気を通さないことがわかった。

★身の安全の為、いろいろな道具をつかって電気を通さないようにしながら仕事をしているのがわかりました。

★上と下で声を出しながら仕事をしていた。安全第一を常に意識して仕事をしていた。

### ◆午後 講義 「電気とは」



★電気とは、ライフラインの一部で、とても大切なことがわかった。さらに、電気について考えさせられるような講義でいい経験になりました。

★電気は、発電所・変電所を伝わり、自分たちに家に届くことがわかりました。また、電気は機械だけでなく、人を通してつくられているんだと思った。

★電気について詳しく聞けたし、自分たちに家まで来るのに、苦労しているんだと思った。





## ◇9月1日 午前 社員との交流会

★電線の圧縮や電線の長さ、太さに違いがあることがわかりました。高所作業車に交代で乗り、仕事をしている人の目線がわかりました。

★高所作業車に乗せてもらった。色々な部品や作業で使う道具をみせてもらった。

★高所作業車に乗ってみて、とても怖かったです。またとても景色が良くいい経験になりました。またトランスの中に液体が入っていて、驚きました。

## ◇9月1日 午後の話し合い

★電気について多くのことを学びました。仕事というのは、大変だけれども、楽しかったりおもしろかったり、今回は、いい経験になってよかったです。

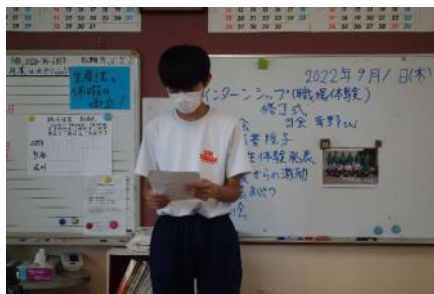
★仕事は、いろいろな人とコミュニケーションを取り、楽しく、真剣な場であることがわかった。毎日使っている電気は、いろいろな人の苦勞で家まで来ているんだと思った。全体として学んだことは、やっぱり、仕事をしないで生きていけない、だから、自分に合った仕事に就いて、やりがいができたら楽しくなることがわかって良かったです。

★電気関係の見学をし、講義も聞けたので、電気関係のことがちょっと身につきました。仕事は大変だけれど、楽しさや面白さがあることがわかりました。



## ◇職場体験の感想

★職場体験では、仕事の面白さ楽しさがわかった。現場を実際に見ることができて仕事の内容がわかった。講義では電気の事・配電のことがわかった。こうして学んだことを、これから生かしていきたい。



★最初は緊張していたが、分かりやすく電気のことを教えてもらって高所作業車にも乗せてもらった。電気って楽しんだなって思った。

★配電する人は、大変そうでしたが、でも大柳電気では、社員の方々が楽しそうに話している姿があったので、職業は楽しいのが良いと思いました。

## ◆終了式の様子

開会の後、修了書を社長から生徒一人ひとりに「修了書」授与しました。



次に、社員一人一人が、生徒を激励しました。



そして、最後に社長から、励ましの式辞がありました。



その後、玄関で記念写真を撮影しました。



# 講師の先生からの金言



★電気というインフラを整備するためには、「匠の技術」が必要だ。何かやろうと思っても、それを実現できる技術者集団がいなければ、何もできない。大柳電気の価値はそこにある。

★若いころの勉強は、自分の可能性を広げるために必要だ。

★若いころは自分のために、結婚してからは家族のために、子供が自立してからは社会のために、生きていこうと思っている。



★年齢を重ねても働くことができるのは、資格を貪欲に取得したからである。資格が自分を守ってくれる。



★今、自分がこうして勉強していただけるのは、そして何不自由なく平和に生きていただけるのは、親が子供のために一所懸命働いているからだということを忘れてはいけない。親に感謝し、親孝行をしましょう。



★小さいころに、やってみたいと思っていた「ちっちゃな炎」を生涯大切に生きていこう。自分が自分である証はその「炎」にあると思う。



## 編集後記

大柳電気は、ユアテックの協力会社です。ユアテックは、東北電力のグループ企業です。

ライフラインを守る点で、共通の役割を果たしていることから、弊社でお引き受けした地域の宝・登米市立中田中学校の2年生3名と一緒に指導しました。

3名の生徒の皆さんの「電気の仕事ってどんなものなのかなあ」という問いに、大人たちが一生懸命立ち向かった記録をご覧ください。

(鈴木)